



泳げ!カナちゃん、明日に向かって。 —障害者スポーツに賭ける青春—

欠かさぬ日々の鍛錬—

現在、奏子さんは佐伯区にある就労継続支援を行う事業所で、毎日9時から14時30分まで働いている。仕事を終え、いったん帰宅。支度を整え、一人で電車に乗り、広島市東区にある広島市中心障害者福祉センターやビッグウェーブなどで練習に励む日々だ。泳ぐだけではなく、しっかりとした体をつくるため、体幹トレーニングも欠かせない。

奏子さんが、こうした大きな大会を目指すようになったのは、一人のコーチとの出会いがあったからだ。母親の礼子さんは話す。「娘は幼いころ膝が悪かったんです。



(上) マンツーマンで熱心な指導。信頼する小又コーチと一緒に。(下) コーチのアドバイスに耳を傾ける水泳仲間。

それで膝への負担が少ない水泳を始め、スイミングスクールに通いました。ただ、スイミングスクールの卒業後は、数年ブランクがありました。知人に誘われたのがきっかけで、19歳の冬に再開し、コーチの小又さんの指導を受けるようになったのです。

輝ける場所を—

東広島市西条町にある県立障害者リハビリテーションセンター。施設内の「スポーツ交流センターおりづる」の屋内プールで、黙々と泳ぐ奏子さんの姿があった。プールサイドには、生徒たちに声を掛ける小又さんの姿も見える。

障害者の水泳団体の理事を始め、障害者スポーツの指導者として活躍する小又美香さんは、安芸高田市のスポーツ施設で働いていたころ、プールの

12月3日から9日は障害者基本法で定められた「障害者週間」。障害者基本法は、障害者の福祉について関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野に参加する意欲を高めることを目的としている。知的障害というハンデを乗り越え、水泳の世界で結果をのこした女性がいる。彼女の懸命な姿を紹介する。

【取材 企画財政課】



輝く、全国優勝—

福井県の花、スイセンをモチーフにした金と銅のメダル。見せてくれたのは、中丸奏子さん(23歳 玖波6)。10月13日から15日にかけて福井県で行われた「第18回全国障害者スポーツ



月2回通う「スポーツ交流センターおりづる」の屋内プール。1日3~4km泳ぐ。

利用促進のため、障害者の水泳指導員の資格を取ったという。その指導力が認められ、やがて県代表などの競泳のコーチとして招かれるようになっていった。

「子どものころの障害者の水泳というのは、療育の中で行われていました。それはあくまで水に慣れるレベル。18歳で特別支援学校を出ると、水泳を続けることが困難になります」。

知的障害者がスイミングスクールなどに受け入れてもらうのは難しい現状がある。感情のコントロールがうまくできないことで、トラブルが起きたりクレームになったりすることを避けるためではないかと小又さんは考えている。

そのようなこともあり、個人的に頼まれてボランティアで競技指導を始めた。

(上)10月31日、全国大会での優勝報告で、市長を訪問。(下)大会のシンボルマークと福井県の花スイセンがデザインされた右の金と左の銅のメダル。



大会(福井しあわせ元気大会)で、広島県代表として知的障害者の水泳競技に出場し、25m背泳ぎで第1位に輝いた。50m自由形でも第3位に入賞。その証となる2つのメダルだ。自由形ではターンで後れをとり、いったん4位に後退した。その後巻き返して3位となったが、もっと上位をねらえるはずだったのにと、悔しさをにじませる。

コンマ何秒を争う競泳の世界。障害者スポーツも例外ではない。全国から集まった強豪を相手に、堂々の栄冠を勝ち取った。

指導する上での難しさはある。身体障害者の水泳指導のマニュアルは整備されている。しかし、知的障害者への指導の歴史は浅く、ノウハウは手探りだという。コーチも生徒も失敗を重ねながら、成長していく姿がうかがえる。

「水泳を通じて、自分の輝ける場所、生きていける場所を見つけて欲しい。そしてみんなにかわいがってもらえ、なおかつメダルの取れるスイマーになつて欲しい。そのお手伝いがしたい」と、エールを贈る小又さん。

次なる挑戦へ—

「水泳をすることで、自立できるようになりました。仕事も水泳も一人で電車を通いますし、遠征でしょっちゅう県外にも出かけます。社会性や生活習慣も身に付いたようです」。練習を見守る母親の礼子さんの口元が緩む。

今回の優勝は、親子だけでなく、コーチや周囲の人の協力があったからこそ結果だと感じた。そしてまた、とどまることなく、年明けにある大会に向け、次なる挑戦は始まっている。

そんな奏子さんのもう一つの楽しみは、「給料で好きな服を買うこと」にはかんだ笑顔を見せてくれた。

・市職員募集(身体に障害のある人)は17ページ
・障害者差別解消法については26ページ